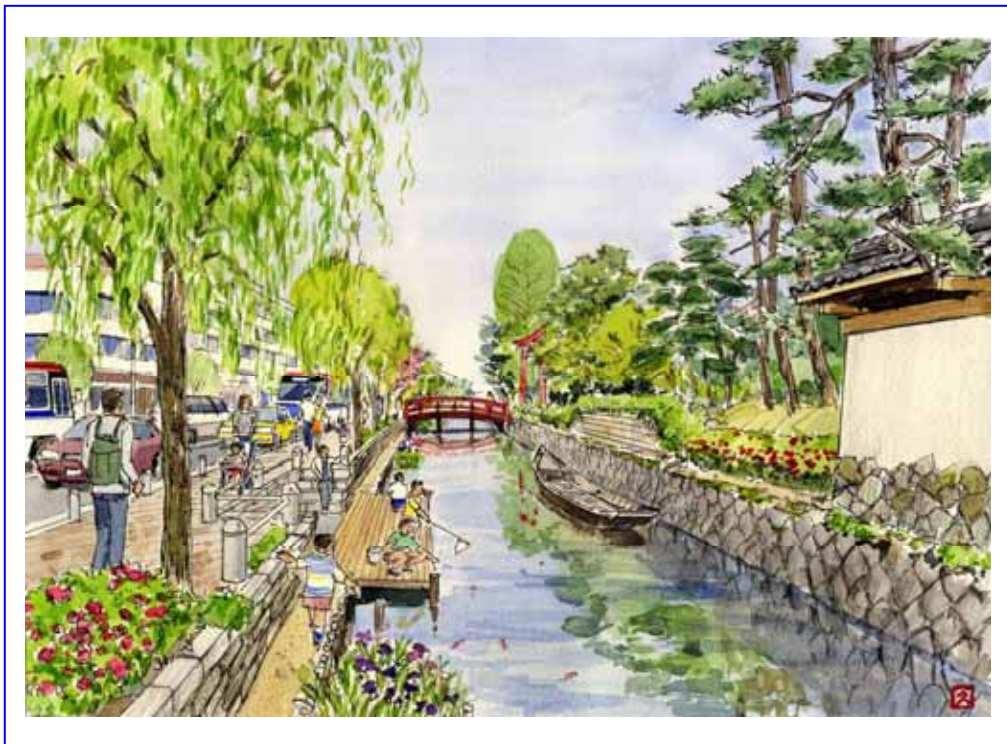


## 一番堀プラン



## 一番堀の再生

### 一番堀の キーワード

1. 古町と文化施設の集積地区を結ぶ「文化のブロムナード」
2. 堀内側に「水の都」新面をアピールするシンボルとしての堀
3. 新面が一番最初の堀
4. 白山公園と一体で整備する事で歴史的空間創造「水の都」の復興
5. 広い堀が置れる



### 将来的な 効果

1. 上古町との連携→上古町の活性化  
〔土産物屋・飲食店が出現、上古町のイベントにつながる〕
2. 新面の「セントラル・パーク」として  
観光客に好まれて一番の堀になる
3. 歴史記念館が水辺に映えるライトアップ
4. 芸妓さん橋式（お披露目）の場復活



### 一番堀の 利活用

- ・公園の機能 白山公園との一体化
- ・防災機能 遊水池
- ・商業の機能 舟あそびができる、  
露天市場、オープンカフェ、フリーマーケット
- ・文化の機能 歴史教育 歴史観光



### 一番堀の デザイン

- ・音の堀のデザイン
- ・太鼓橋
- ・舟遊びができる
- ・白山公園側に片寄せ
- ・石垣（かつての堀をイメージ）
- ・公園と一体化（堀の撤去など）
- ・歩道にベンチなど
- ・周辺のライトアップ
- ・水辺の憩い空間は、白山公園の池に  
・最大限広く（5m以上欲しい）
- ・柳の並木（道路側）



## 提案！ 私たちの考える一番堀の再生

### 提案

- ・白山公園を囲回させる
- ・西側上とつなげる
- ・太い堀、細い水路の組み合わせ

古町通りから太鼓橋付近イメージ



### 課題

- ・白山神社への車の出入  
→宮前橋との交点など橋
- ・白山神社の白壁  
→全部とり払う？目隠し必要？
- ・歴史記念館の前（庭）  
→復元する
- ・白山公園の池と水をつなげる
- ・裁判所移転後跡地の活用
- ・取水と排水をどうするか

白山公園・市民会館側イメージ



## 一番堀の再生イメージ

### 一番堀再生プラン平面図



- 古町通りから太鼓橋付近
- 市役所本館・白山神社間
- 白山公園・市民会館境

### 横断面



広く・深く 石積護岸 太鼓橋 舟遊び ライトアップ 白壁どうすべきか？  
車が出入りできる橋を架ける 護岸とつなげる



現行の宮前橋の延長 石積護岸・ピオトープ



水路・水辺づくり 遊歩道と一体化した散策路

一番堀復元の議論の整理

現 状	履 位 点	課 題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 借磯川が近く、りかーとびあ、興政記念館、白山公園、白山神社、音楽文化会館、県民会館などが集中し、水の都の文化の象徴的な場所</li> <li>• 周辺の住民、地権者が少ない。(h12人口:112人)</li> <li>• 白山神社の跡に堀を掘じた水路がある。</li> <li>• 道階幅が広い。(26m ある。)</li> <li>• 上吉町の勉強会や本町の千灯祭り等が頑張っている。</li> <li>• 白山小、鏡湖小、白新中などが堀に隣する総合学習をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通量が多い(12000～30000台/日)</li> </ul>
<p>その他特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 万代島ルートへの延伸により、自働車交通体系が変わる可能性がある。</li> <li>• 北陸地方整船局、裁判所などが移転する。</li> <li>• 駐車場周辺の取組みが難しくなる。</li> <li>• 市役所前の噴水広場は歴史性や景観的にどうか？</li> <li>• 祭りや初詣の日には人込みでこぼれた返す。</li> </ul>		
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 古町と文化施設の集中地区を結ぶ「文化のプロムナード」</li> <li>• 県内外に「水の都」新堀をアピールするシンボルとしての堀。</li> </ul>	
効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• セントラルパークとして県内、県外から来る観光客に対して一番の顔となる。</li> <li>• 白山、古町、本町を回遊する流れが出来る。</li> <li>• 周辺地権者や企業も景観や環境に配慮するようになる。</li> <li>• 堀を知らない若い世代に「新堀の本来の姿、歴史」を伝えることが出来る。</li> <li>• 芸術などの文化や景観をセットにして後世に残すことが出来る。</li> </ul>	
整 頓 後 の 履 位 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 4車線の道路を現しても、堀を通るスペースは確保できる。</li> <li>• 神社の跡をとるなどして、公園と神社と堀の一体的な整備が可能。</li> <li>• 政令市の記念事業としても考えられる。</li> <li>• エコパークとして周辺の小中学校の生徒が環境学習をしたり情報したり出来る。</li> <li>• 市役所に近く、市の方針として取り組んでいける。</li> </ul>	
堀 持 生 現 状 向 け	課 題	対 策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市計画道路で県道。</li> <li>• 交通量が多い。(12000～30000台/日)</li> <li>• 日常の維持管理をする住民が少ない。</li> <li>• 自働車の流れが変わると駐車場経営者の営業に支障が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政令市になれば新潟市の管理となる。</li> <li>• 道路幅が広いので、4車線を確保できる。車もコントロールできる。</li> <li>• 公共交通(バス)の利用者を増やす。</li> <li>• 市民有志、行政職員が率先して手入れする。</li> <li>• 利用に制限がなくても、魅力が増し、買い物客や観光客が増えることによって、利用者が増える施策を提示する。</li> <li>• 短期的には営業に支障が出る可能性がある一方で、事前に駐車場組合との協議が必要。</li> <li>• 駐車場の出口調査などを行い、どの方面からの駐車場利用が多いかを把握した上で対策を立てる。</li> </ul>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中心市街地活性化や歴史文化施設の活用などの名目からすると、他の2つの堀に比べて事業予算が付けづらい。</li> <li>• 一番初めの、堀水部分の大きな堀</li> <li>• 江戸時代は長岡藩に保護され、米倉が並ぶ重要な地だった。</li> <li>• 古町芸妓が一人前になる儀式をするハレの場所。</li> <li>• 文化に触れた後の余韻にひたる空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民街で事業化</li> </ul>

## 西堀プラン



## 西堀の再生 1

### 西堀の キーワード

1. 新しい「水の都」のシンボル
2. 中心市街地の活性
3. 寺町と花柳界の風情

### 将来的な 効果

1. 新しい都市の魅力を生む
2. 文化と歴史の発信
3. 堀と寺町の風情が人を呼ぶ
4. 水際に映える花柳界



## 西堀の再生 2

### 西堀の 利活用

- ・水辺でのイベント——音楽祭、フリーマーケット、観桜会、句会、花絵、踊会場
- ・水辺の集客——露店、常設の市場、屋台、オープンカフェ
- ・水と緑の景観——ライトアップ
- ・文化の発信——芸妓さんと人力車、千灯まつり
- ・歳時季——花絵イカダ、灯籠、笹舟流、水遊び

### 西堀の デザイン

- ・都市の水辺を演出する
- ・車の進入を抑え、歩いて楽しい街
- ・水辺で遊べる
- ・賑わいのイベント広場
- ・水の動き、光、ゆらぎ、音を体感できる
- ・昔の風情を再現する

西堀0、0番町のイメージ



西堀7番町のイメージ



## 提案！ 私たちの考える西堀の再生

### 提案

- ・一番堀と西堀を結ぶ堀
- ・懐かしい堀区画と新しい堀区画を組み合わせる
- ・車道と歩道を堀（水辺）で分ける
- ・段階的に整備し、最終的にすべて再生する

### 課題

- ・交通問題（商業活動、並行の混雑時など）
- ・中心市街地の活性化とどう結びつけるか

- 第一段階の整備として
- 堀区画
  - びせり区画
  - 堀水広場



西畑復元の議論の整理

現 状	観 点	観 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>古町は新潟の中心商業地である。</li> <li>最後まで残っていた新潟の代表的な顔で、埋め立てに反対議論も一部あった。</li> <li>歴史の中の物語や、文人の句碑などが多く残る。</li> <li>新潟市の様々な計画に顔の再生がうたわれている。</li> <li>料亭や割烹が多く、芸妓文化と密接な関係にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老舗の料亭が無くなりつつある。</li> <li>お盆とクリスマスは挨拶がひどい。</li> <li>モータリゼーションの進展と共に都市から水辺は姿を消した。その結果として経済成長を遂げたが、心の余裕やゆとりがなくなった。</li> <li>ミニ東京化が進み、個性がなくなった。</li> <li>水辺を介した伝統や文化が継承されなくなった。</li> <li>水辺を通じてつなげていた地域社会の関係が希薄になった。</li> </ul>	
<p>● 寺町である。約 30ヶ寺</p> <p>● 昼間人口が多い。居住者の人口密度は高くない。(新津屋小路～新堀：214人、極谷小路～広小路：534人)</p> <p>● 万代船ルート線の延伸により、街中の交通体系が変わるだろう。</p>	<p>● 賑わい創出，中心商業地の活性化</p>	
<p>● 自治活動，地域コミュニティーの再生につながる</p> <p>● 全国の都市水路の先駆的な取り組みでアピールできる。</p> <p>● 来街者，居住者が増加し，商業が活性化する。</p> <p>● 人口増加，賑わい増加，商業の活性化により，土地の価値が上がる。</p> <p>● 観光の目玉になる。</p> <p>● 寺町の幼稚園児たちの遊び場になる。</p> <p>● ライトアップなどで周辺景観の質が上がる。</p> <p>● 芸妓さんなどの文化もセットで発信できる。</p>	<p>● オープンカフェなどの利用面で効果が強い。</p> <p>● 知名度が高い。</p> <p>● 周辺の商業者のつながりが活かし、民話を投入できれば、グレードの高い水辺の整備が出来る。維持管理にも協力が得られる。</p>	
<p>整備後の観視点</p> <p>● 西堀 6, 7には地下下街（ローサ）がある。</p> <p>● 住民の往来が阻害される。</p> <p>● 土地利用に制限が出る。</p> <p>● 駐車場経営者が多く，短再生により営業に支障が出る。</p> <p>● 交通量が多い。一番～二番：26594台，二番～極谷小路：23676台，極谷小路～新堀：38733台</p> <p>● 都市計画道路であり，重要な幹線である。</p> <p>● 日常の維持管理に汗をかき沿線住人が少ない。</p> <p>● 水質の管理</p> <p>● コミの問題</p> <p>● 落下事故の危険性</p> <p>● 維持管理の負担（資金，努力）</p> <p>● 土地の価値が低下する可能性がある。</p>	<p>● 狭くしてせせらぎにし，噴水広場を作る。</p> <p>● 公共交通，駐車場，商店，土地利用などはパッケージで検討する。</p> <p>● 市民有志が中心となって，周辺商業者やお寺，学校，企業などを巻き込んで維持管理。</p> <p>● 周辺商店街，お寺，学校，企業などの協力を得て，維持管理の補助をしよう。</p> <p>● 利用に制限が出ても，魅力が増し，来客が増えることによって，商業が繁盛し，土地の価値が上がることを試算して提示する。</p>	

## 早川堀プラン



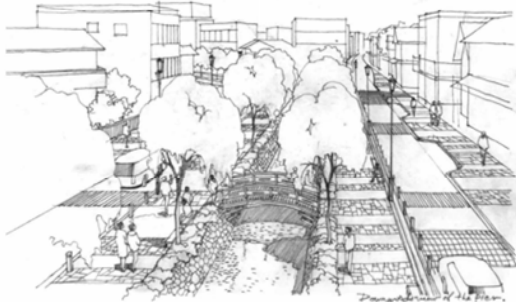
## 提案！ 私たちの考える早川堀の再生 1

### 早川堀の キーワード

1. 住民（老若男女）が、水と緑の空間で交流する。
2. 環境改善が、住環境の改善に繋がる。
3. 商業者の出店を促す。

### 早川堀の 利活用

1. 公園の機能（憩い、対話、散策の場）
2. 防災の機能（防火用水、雪捨て場）
3. 産業の機能（イベント、観光、保養施設）
4. 文化の機能（歴史や環境の学習の場）



## 提案！ 私たちの考える早川堀の再生 2

### 早川堀再生の 将来的な効果

- ・堀端で「蚤の市」が定期的に開催される。
- ・堀辺に足湯や土産物屋、飲食店が商店する。
- ・地元民や観光客が楽しめる、舟の運行を実現する。
- ・堀辺の住宅や商店の庭へ、堀の水を引き込んで、新たな水の風景をつくる。
- ・水のステージでの、野外コンサートの開催や、夏のビアガーデンなどを実現する。
- ・水際の水生植物や、堀端の花々を手入れする活動が地域内外の交流に役立つ。

### これらを実現するための、堀のデザインは・・・

- ・全長800mの堀区間に、変化をつける。
- ・堀と植栽の空間が、道路の中央にある場所と、道路の片側に寄せる場所とに、分けて設ける。
- ・人が溜まることが出来る「広場」を設ける。その場所の堀は、細く深くするか、暗渠化するか。
- ・東屋を、150mに1箇所くらい設ける。
- ・水生植物を水際に植える。
- ・二面張りか、三面張りか。昔の面影を残す堀割か、新しい姿の水空間にするのか。



## 提案！ 私たちの考える早川堀の再生 3

### 提案

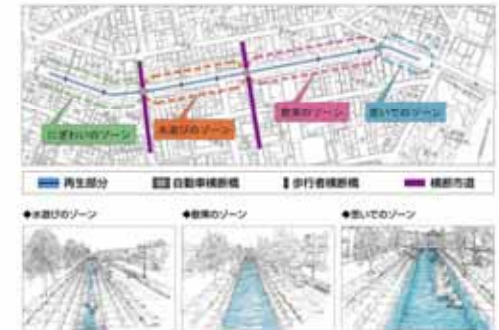
- ・漆町に点在する歴史や文化の拠点を結び、下町が水と緑の空間で交流する堀をつくろう。

### 課題

- ・新しい歴史や文化の拠点を生み出す。
- ・中心市街地に近い良好な住環境を守り、さらにグレードアップを図る。



早川堀の位置とゾーニング案





早川堀復元の議論の整理

現 状	現 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>北部開発協議会が早川堀の復元公園で燈籠流しを毎年行っており、堀の復元を提唱している。</li> <li>ウエルカム下町が早川堀通りの清掃活動をしており、景観、まちづくりに関する勉強会を行っている。</li> <li>5月につつじ祭りで行いを止めてイベントを行う。</li> <li>周辺の小中学校で総合学習が盛ん。</li> <li>早川堀の復元機型がある。</li> <li>みなとびあに多くの来客があり、町家が多く残る。</li> <li>新潟まち遺産の会の発足や小澤邸が希贈されるなど歴史文化を見直す動きが盛ん。</li> <li>対岸の朱鷺メッセへの賑わいがよく、港町の風情・イメージが残る。</li> <li>下町一体は植栽・カーテニングが盛ん。</li> <li>道幅が広く、交通量が少ない。平行する道路がある。</li> <li>みなとトンネルと海岸線（国道402号）がつながる。</li> <li>くらしのみちゾーンの勉強会が行われている。</li> <li>職住近接で雑町の特色がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減少している。（s35からの40年間で4割に減った。）</li> <li>商店街の活気が失われている。</li> <li>新潟のシンボルの欠如</li> <li>歴史文化植栽の点を結ぶ線がない。</li> </ul>
<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街と港を結ぶシンボルロード</li> <li>ヒューマンスケールのまちづくり</li> <li>住環境の向上と居住人口増加の促進</li> </ul>	
<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堀端に新しい店舗ができ、商店が活性化される。活性化の起爆剤</li> <li>「水の都」新潟の象徴になる。</li> <li>歴史文化植栽の点を結ぶルートになる。</li> <li>町家の保存や景観形成への活動が活発になる。まちづくりが盛んになる。</li> <li>住環境が向上し、居住者が増加する。世代間の相互扶助が出来るようになる。</li> <li>防火用水、延焼防止帯として使える。</li> <li>融雪槽として使える。</li> <li>人が歩くことを中心にしたまちづくりが出来る。</li> <li>歴史文化の見直し、祭りの復活などで、観光客が増える。</li> <li>子供たちの遊び場、環境学習の場として使える。</li> <li>地域の憩いの場、潤い、財産になる。</li> </ul>	
<p>整備後の優位点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺住民によるまちづくり団体（北部開発協議会や下町を良くする会など）の応援がある。</li> <li>ウエルカム下町で維持管理が出来る。</li> <li>交通の妨げにならないし、交通量は減少する。</li> <li>生活に密接な堀になり、歳時記の中で活用される。</li> </ul>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿線住民の自動車利用が妨げられる。……………</li> <li>衛生管理……………</li> <li>事故などの安全管理……………</li> <li>ボートの騒音……………</li> <li>以前は勉強会のアンテナで掘再生を否定された。</li> <li>舟運には莫大な費用がかかる。……………</li> <li>都市計画道路がある。……………</li> <li>橋、手すりのデザイン……………</li> <li>昔の汚い堀のイメージを持つ人が多い。……………</li> <li>住民合意形成</li> <li>保守的な人はよそ者が来ることを嫌う。……………</li> </ul>	<p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>橋や迂回できる場所の設置</li> <li>路上駐車禁止の啓発、意欲転換</li> <li>住民による消却活動、アラブトなどの行政支援</li> <li>衝突装置による流水の確保</li> <li>水深を浅くする。救命具の設置</li> <li>稼働時間の制限、音の小さいボートの設置</li> <li>休日のみのボランティア営業、水門は無理か</li> <li>道路の下を通せる。</li> <li>他都市の事例から研究</li> <li>現在の技術で汚い堀になることはない。説明が必要。</li> <li>人から見られることによってまちが美化される。</li> </ul>
<p>掘再生実現に向けて</p>	